

⊗ 市民と議会をつなぐ

議会だより

2023

第57号



令和5年
6月定例会

二千年ハス（多久市多久町）

第5回議会出前授業	P 2
6月定例会・審査報告・議案質疑 ..	P 3
一般質問	P 4～6
意見書	P 7
論語大学・表彰	P 8

第5回議会出前授業

～児童からの質問～

- ①議会での質問の順番はどうやって決まるの？
- ②定例会が3か月ごとなのはなぜ？
- ③選挙はいつある？
- ④本会議にはどのくらい時間がかかる？
- ⑤多久市を活性化するためにどんなことを目標にしている？
- ⑥意見書は何でもだせますか？
- ⑦学校のエアコンなどの予算はどこからでますか？

7月4日に東部校、7月5日に西溪校を訪問し、社会科で政治を学ぶ6年生に議員がゲストティーチャーとなって議会の仕組みと役割（①市議会って何②市議会の仕事は③市議会の進め方④本会議どこでしてるの⑤市に要望のあるときは⑥議会をもっと知りたい）などの授業を行う「議員出前授業」を行いました。議会や議員の活動を身近に感じて政治に関心を持ってもらえるよう開催しています。

児童のみなさんからたくさんの質問がありました。

周りに振り回されず自分の意見をはっきり言える議員になりたい

また、多くの児童が子ども議会にも参加したいと手を挙げられ嬉しい結果となり、多久の未来は明るい!!と感じる議員出前授業となりました。



▲東原彦舎西溪校の出前授業の様子

令和5年6月定例会

令和5年6月市議会定例会は6月5日から6月27日まで（会期23日間）開かれました。今回は6人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

6月定例会では、市長から提出されました議案16件（条例等14件、予算2件）の議案について審査し、いずれも原案どおり可決したほか、意見書1件を可決しました。

審査報告

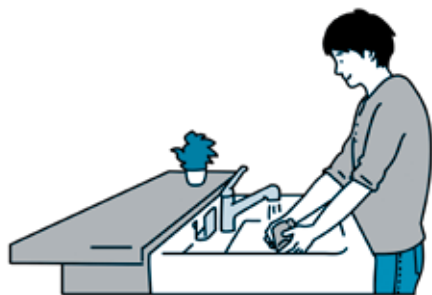
総務文教委員会 審査報告書

審査の過程で、北多久公民館建設工事の請負契約の一部変更については、設計段階で想定できた部分があったのではないかと意見がありました。

予算特別委員会 審査報告書

【総務費】

審査の過程で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、佐賀西部広域水道企業団負担金（水道料金免除分）3,108万5千円については、市内水道利用の全家庭・全事業所対象の事業であるので、もっと市民の方々にアピールをしては如何かという意見がありました。



議案質疑

提出された議案について、議案の提出者（市長か議員）に対して、議案の内容や提案の理由などについて疑問点や不明な点を尋ねること

香月 正則

■地域おこし協力隊 起業支援補助金

Q 事業の詳細は。

A 地域おこし協力隊の任期満了後の定住促進を図るため、市内での起業に必要な経費に対する補助金です。

Q 交付を受けるための要件は。

A 地域おこし協力隊の任期終了の日から起算して前1年以内の者、もしくは任期終了の日後1年以内



の者が、市内で起業し、事業内容が市の活性化に資するものであることです。

Q 起業を廃止された際の補助金返還等は。

A 補助金交付要綱には、起業してから何らかの原因により、事業廃止などに伴う補助金の返還に関する記載はございませんので、見直しが必要ではないかと検討中です。

Q 協力隊募集の際に起業支援補助金の記載は。

A 募集要項には、起業に向けた支援は行いますという記載はありますが、具体的な起業支援補助金に関する記載は無かったので、今後募集を行う際には記載したいと考えています。

アートを活かしたまちづくりについて

市丸 どのようなアートを活用したまちづくりを行っていくのか。

答弁 アートを核とした教育、ビジネス、活動の支援、移住・定住などの地域経済循環型システムの構築を行って、アートのまち多久として展開を図っていきたいと考えています。

市丸 「池田学展」「田川清美展」の成果について。

答弁 池田学展は、16日間の開催期間で7,032名（うち市外65%）、田川清美展は、18日間の開催期間で3,007名（うち市外70%）でした。開催中は人の流れも多く回遊性が生まれており、一定の経済効果があったのではないのでしょうか。

市丸 アート作品に児童生徒が触れる機会がないか。

答弁 池田学展の開催時には、各学校より送迎を行い鑑賞する機会を設けました。田川氏の作品は、例えば各学校の文化祭などで展示し、鑑賞してもらいたいと考えています。

市丸 今後の展開について。



市丸 勝義 議員

答弁 中心市街地でのウォールアート推進事業で作成する100作品により、アートのまち多久のブランディングを行い、交流人口の増加による地域経済の活性化に向けた仕組みづくりを行っていきます。



▶ 田川清美展



▶ 池田学展

防災・水害について

彌富 農林災害に対し旧産炭地鉱害復旧事業の基金の活用はできないか。

答弁 基金の対象外地区への活用は困難です。農林事業には災害復旧事業のほか多面的機能支払交付金、地域農業水利施設ストックマネジメント事業、市単独事業の原材料支給などの事業があり、ハツ枝地区につきましては、詳細な調査が必要ですが、これらの事業で対応できる可能性があります。関係機関に農業用施設管理の重要性や補助事業の拡充、補助率のかさ上げなどの要望を行っていきたいと考えております。

稼働した施設の運営状況と評価について

彌富 タクアを含む公共施設の計画時と稼働後の総括は。

答弁 施設の利用状況、運営状況、老朽化状況など社会情勢や経済情勢の中、継続的な評価を行っております。タクアに関しては、令和2年度から続くコロナウイルス感染拡大の影響や原油価格高騰による経費増により厳しい経営状況と言わざるを得ない状況が続いています。毎月、タ



彌富 博幸 議員

クアと商工観光課、多久市観光協会、多久市商工会との連携会議を設けており、より大きな効果が生まれるよう努めています。



マイナンバーカードについて

廣橋 マイナンバーカードの多久市での普及状況と現在の活用状況について。

答弁 現在の申請率は81・42%と普及が進んでいる状況です。マイナンバーカード活用状況では、医療機関や薬局でのオンライン資格確認、e-Taxによる確定申告などがあります。

廣橋 保険証として多久市内で利用できる医療機関とトラブルの発生事案について。

答弁 市内で現在、26の機関のうち25の機関で導入済みです。未導入の機関は、機器の設置の準備中であり、近々導入の見込みです。他人の資格情報が紐付いているといったトラブルはありませんが、機器の不具合により資格確認ができない事例は発生しています。マイナ保険証を使うメリットは、高額療養費制度の申請省略、特定健診や薬剤処方情報の健康管理への活用、窓口における自己負担が、初診で約12円、再診で約6円安くなります。

廣橋 マイナンバーカードによるコンビニでの住民票などの各種証明書



廣橋 時則 議員

の取得について。

答弁 多久市においては、1件当たりの発行コストが非常に割高になるため、現状では導入を見送っていますが、オンライン申請などで対応しています。よりよいデジタル社会を多久市でも実現をしていきたいと思っていますので、検討する方向で考えていきます。

廣橋 マイナンバーカードで印鑑証明書や住民票などをコンビニで取得できれば、早朝から深夜まで、土曜も日曜も関係なく、日本中どこでも取得可能です。是非導入をお願いします。



生活困窮者支援について

坂口 物価高騰により生活困窮者が増加傾向にあると思われます。支援の手だては。

答弁 令和5年度は支援給付として低所得世帯の方に対し1世帯あたり30,000円の支給を予定しています。更に全世帯に対して、水道料金の基本料金の減免なども行っているところです。①生活困窮者自立相談支援事業②家計改善支援事業③就労準備支援事業を社会福祉協議会に委託し、個々の困窮の特徴などに応じた継続的な支援を行っています。

帯状疱疹予防接種の助成について

坂口 50代から高齢者期にかけ、帯状疱疹に罹患される方が多いなかワクチンの必要性は。

答弁 高齢期を健やかに過ごしたいただくためにも必要と考えています。
坂口 九州では佐賀県と長崎県だけがワクチン接種の助成がなく一時も早い助成の検討をお願いします。

答弁 今後、国の定期接種にむけた検討状況を注視してまいります。带状疱疹の症状や予防など、多久市のホームページなどでお知らせします。

子どもの医療費助成制度について

坂口 高校生年代には、受給資格証がなく償還払い（医療機関支払い→市窓口申請→払い戻し）の助成となっている。受給資格証の発行の考えは。

答弁 国の子ども未来戦略方針の加速化プランにおいて、国民健康保険の国庫負担の減額措置を廃止するなど必要な措置を講ずるとなっておりますので、今後国の方針を見ながら子どもと保護者にとってより良い制度となるよう検討を進めていきます。



坂口 絹代 議員



部活動の地域移行について

田淵 地域移行の進捗状況は。

答弁 本市の地域移行に関わる状況は令和4年度の中学校総体以降、合同部活動を毎週土曜日に実施。複数の指導者体制を整備し関係者と協議を重ねております。また令和5年度の中学校総体から地域クラブ活動や合同チームでの参加が可能となりました。

田淵 地域移行を進めるための支援は。

答弁 国や県のような体制や補助があり、今後保護者の方の負担に対しては、地域移行期間中における国の補助を活用できないか検討していきます。また保護者や関係者とも協議を進め、いかに物的支援及び人的支援の展開ができるか研究を進めていきます。

田淵 地域移行後の生徒の健康管理は。

答弁 指導者や保護者の方には部活動のガイドラインに示された方針に従い、地域移行後も事前の体調把握や練習過多にならないよう、教育委員会が指導する立場だと考えています。



田淵 地域移行の課題は。

答弁 新しい競技環境への支援、運営体制や指導方針の共有、活動時間、活動の継続性、物的支援、人的支援など学校部活動と連携し、道具の共有使用ができるよう働きかけていきます。

す。



田淵 厚 議員

SAGA2024大会について

中島 進捗状況は。

答弁 実行委員会を設置し審議、準備を進めています。緑が丘弓道場は昨年4月に供用を開始、スポーツクライミングのボルダー施設は6月24日に完成式典が行われました。

中島 街なかのにぎわい創出、観光振興は。

答弁 開催期間中、競技会場内に売店、総合案内所の設置などを計画中です。また、市内の事業者や関係団体と協力し、市内の回遊性が生まれるよう努めていきます。

中島 今後の事業計画は。

答弁 今秋の鹿児島国体では関係するスタッフが現地で調査し、今後に生かします。また来年6月にはスポーツクライミングのリハーサル大会を予定しています。

職員の健康管理について

中島 休職に関する市の状況は。

答弁 現在メンタルヘルス不調、その他の疾病により休職している職員がいます。



中島 健康管理の取り組みは。

答弁 健康診断が人間ドックを必ず受診するようにし、健康診断受診率は98%です。メンタルヘルス対策として月1回臨床心理士、年2回管理職による面接を行い、不調や変化に早く気付くように努めています。



中島 慶子 議員

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを求める意見書」を可決しました

厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もありますが、自治体間の教育格差が生じることとは大きな問題です。義務教育費国庫負担制度については、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のごくに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが重要であり、ゆたかな子どもの学びを保障するため、条件整備は不可欠です。

記

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。
4. 教職員の処遇について新規採用を

5. 新卒者の就業機会や教職員の年齢構成のバランスの確保等の観点から十分に考慮し、すべての自治体で定年引上げ期間中に教職員の安定的な新規採用ができるよう、定数加配措置をはじめとした必要な財政措置を講ずること。
6. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

(一部抜粋)



議会広報委員会

委員長 廣橋 時則
副委員長 市丸 勝義
委員 彌富 博幸・尾形 武史
坂口 絹代・渡島 幸司



論語大学①

「民、信なくば立たず」

孔子の弟子の子貢が政治の要諦を尋ねた時、師である孔子が「それは食を豊かにし、兵を強くし、民から信頼されることだ」と言われた。子貢がさらに「食、兵、信の三つが揃ったら申し分ないでしょうが、国の状態からしてこの三つの中からどうしても止めにせねばならぬようなことがあったら、何から先に止めにすべきでしょうか。」と尋ねた。すると孔子は「兵(軍備)を去らん」と答えられた。

そこで、子貢はさらに「それでは食と信のうちどうしても断念しなくてはならないとすれば、どちらを止めにすべきでしょうか。」と尋ねると、孔子が言われることには「もちろん食を止めにする。食がなければ人は死ぬけれども、遅かれ早かれ、どうせ人は死んでいく。それは今も昔も変わらぬ。人に信頼がなくなったら国家はもろろん、人生そのものが成り立たないよ。」

この孔子の言葉は、今でも私たちがぎくりとさせる。確かに日本は敗戦後、兵を捨てた。平和憲法が成立した。し

かし、現在、防衛費は膨れ上がり、物が豊かになり、食は贅沢三昧に変化した。ただ、政治に対する不信任は日々つのりつつある。

現代の政治の要領は食を豊かにすることを第一とし、戦争が起これば滅亡と知りながら、軍備増強をしなくてはならぬほど、国家相互の不信任はつのる。信を守るために兵を去り、食を去るという日本民族の崇高な使命は消えかかっている。

郷土の大先輩、副島種臣卿の歌
正しきをふみしむる国あらば
亡びてもよし、必ず亡びず
という心意気は、孔子の「信なくば立たず」の言葉そのままではないだろうか。



▶ 孔子像 (『孔子行状図解より』)

全国市議会議長会より表彰

【特別表彰20年】

中島 慶子 議員
中島 國孝 議員



論語大学の掲載にあたって

かつて、私たちの郷土・多久は先人たちの努力により佐賀藩内はもちろん諸藩に先駆けて邑校・東原庠舎、そして聖廟を建立、この地に「文教の里」を作り上げました。多久の名は全国に広がり、「多久の百姓は鋤を置いて道を説く」「多久のスズメは論語をさえずる」とさえ言われるほどでした。

しかし、その誇りもいつしか薄れてしまったようです。今一度、私たちは先人たちの血のにじむような努力を思い起こし、多久に住むものとして仁と礼を根本とする孔子の教えに耳を傾け、地域全体でその実行に努めるべきではないでしょうか。その願いを込め、元学校長、故不二見達朗氏が30数年前に多久市報に連載寄稿した論語解説を復刻します。

